

平成27年度 町政懇談会 開催報告



総合保健福祉センターゆとろ
7月13日(月)

町政運営に大切な施策の推進には、町民の皆さんのご理解とご協力が必要です。町では多くの意見を町政に反映させていくため、7月13日、14日の2日間、町政懇談会を開催しました。

宮司町長が表明した4つの施策展開に基づき現在進めている重要施策を中心に説明し、参加者の皆さんからたくさんの意見やアイデアをいただきました。

町政懇談会開催状況

当別町総合保健福祉センター

日時：平成27年7月13日(月)
午後7時00分～午後9時10分
参加者数：63人

西当別コミュニティーセンター

日時：平成27年7月14日(火)
午後7時15分～午後9時40分
参加者数：56人

町からの説明内容

- ① 地方創生(当別町版総合戦略)について
- ② 当別町道の駅の進捗状況について
- ③ 再生可能エネルギーを活用したまちづくりの推進
- ④ 当別町小中一貫校教育基本方針のポイント

質疑応答

参加いただいた町民の皆さんからの質問や意見について、質疑応答の一部を紹介します。(質問及び回答内容は要約しています。)

道の駅については、そのメリットが強調されているが。

- ①利用者が40万人を下回ると運営上赤字になると聞いたが？
- ②建設に係る町民・町財政への負担は？
- ③維持費について、どのくらいの金額を想定しているのか？

道の駅外観(イメージ)



回答

①当別町道の駅では、立ち寄り率等から少なくとも40万人の利用が見込まれる。黒字化に向けては、いかにお客さん呼び込むか、どのように客単価(1人あたりの購入額)を上げていくかが最大の課題である。経営が安定している道の駅では1,000円程度の客単価を確保しており、当別町道の駅でもこの客単価1,000円を念頭に施設の組み合わせを計画し、現在検討を進めている。②建設費は約10億円、その半分の約5億円は主に農林水産省、北海道からの補助を見込んでいる。なお、駐車場については全て北海道開発局の負担で整備していただく。③施設全体の建設概要ができ上がったことから、今後詳細を積み上げていくことになる。できるだけ維持費をかけないように再生可能エネルギーの導入も行い、経費を少しでも圧縮するよう努力していく。 【プロジェクト推進室】

回答

道の駅が当別の活性化になぜ有効かというと、太美には約 3,500 世帯が住んでおり、その大半は札幌市で買い物をしている。仮に 1 世帯が年間 100 万円消費すると想定してみると、莫大な消費が札幌市に流出していることになる。このことから当別で消費してもらおう施設を作り、さらに札幌市から来てもらうことは

重要だ。GDP（国民総生産）の約 6 割は個人消費といわれている。地元で個人消費が進めば経済効果がある。直売している農家にとっても収入アップ、町は税収アップとなる。大事なことはどうやって利益を上げられるかの中身であって、これらの経営は歩きながら（作りながら）進めるべきである。【町長】

※開催時、当別町道の駅の説明で使用された説明資料（一部）

道の駅建設の目的

道の駅が目指す方向

当別町道の駅基本構想より

道の駅の施設機能

当別町道の駅の施設機能

道の駅の基本機能	「知」の機能 情報発信 観光情報・飲食店情報 道路情報	「休」の機能 休憩機能 24時間トイレ・休憩コーナー 駐車場
人を呼び込む機能	「食」の機能 飲食の提供 レストラン テイクアウトなど	「買」の機能 特産品販売 農産物直売所 特産品販売所

+αの機能 イベントスペース・防災機能・再生可能エネルギー

当別町道の駅基本計画より

町の財政状況は、どのようになっているのか？
道の駅建設で更に借金が増えるのではないのか？

回答

町では平成 21 年度から平成 25 年度に財政運営計画、平成 26 年度から平成 30 年度までの第 2 期財政運営計画を策定している。町の借金（公債費）については、最大で 197 億円から直近の平成 26 年度末時点では 116 億円まで圧縮しており、着実に財政状況は改善されている。引き続き、財政悪化を招かないよう、健全な財政運営に努めていく。

【財政課】

小中一貫校について、医療大と連携させるような地域教育も考えるべきでは？

回答

小中一貫教育では、地域の特色を活かした教科「当別学」を創設する予定であり、その「当別学」の中でも医療大と連携させる取り組みをしたいと考える。

【教育委員会管理課】

当別町の人口規模で小・中・高・大学を持つ町は、非常に珍しく、強みだと考えている。この強みを活かすため単なる小中一貫ではなく、各生徒がよりレベルの高い自己実現を図れるような小中一貫校を目指していきたい。また、医療大との連携については、既に当別高校も含めて着手しており、キャリア教育についてもこの強みを活かしていきたいと考える。

【教育長】



西当別コミュニティセンター
7月14日(火)

町ではより多くの町民の皆さんに意見やアイデアをいただけるよう、参加しやすい町政懇談会の開催を目指します。

また、懇談会に参加できない方にも町政に対するご質問やご意見等、今後もさまざまな機会を通じ皆様の声を聴き、町政運営に役立てて参ります。

■ 広報秘書課広報広聴係 (☎ 23 - 3069)